

目 次

1. 研究概要の説明	1
(1) 研究者別の概要	1
(2) 研究実施日程	1
2. 研究成果の説明	2
2. 1 位相シフト光干渉法による多チャンネル火山観測方式の検討と開発（京都大学）	2
(1) 業務の内容	2
(a) 業務題目	2
(b) 担当者	2
(c) 業務の目的	2
(d) 10ヶ年の年度実施計画	3
(2) 令和2年度の成果	7
(a) 業務の要約	7
(b) 業務の実施方法	8
1) 実施機関と業務分担	9
(c) 業務の成果	9
1) 観測データの評価による光センサシステムの火山性地震観測性能の評価	9
2) 観測データの評価による光センサシステムの耐雷性能評価	25
3) 光センサシステムの試験観測候補地選定	49
4) プロジェクト運営	50
(d) 結論ならびに今後の課題	50
1) 結論	50
2) 問題点と今後の課題	51
(e) 謝辞	51
(f) 引用文献	52
(g) 成果の論文発表・口頭発表等	52
(h) 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定	52
(3) 令和3年度の業務計画案	53
2. 2 位相シフト光干渉法による多チャンネル火山観測方式の検討と開発（白山工業）	54
(1) 業務の内容	54

(a) 業務題目	54
(b) 担当者	54
(c) 業務の目的	54
(d) 10ヶ年の年度実施計画	54
(2) 令和2年度の成果	59
(a) 業務の要約	59
(b) 業務の実施方法	59
(c) 業務の成果	60
1) 高温対応3成分光センサの試作	60
2) 高温対応光センサの高温特性検証	61
3) ボアホール用高温対応筐体の試作と検証	61
4) 総括	67
(d) 結論ならびに今後の課題	67
1) 結論	67
2) 問題点と今後の課題	67
(e) 謝辞	68
(f) 引用文献	68
(g) 成果の論文発表・口頭発表等	68
(h) 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定	68
(3) 令和3年度の業務計画案	68
3. 活動報告	69
4. むすび	71